

配信資料に関する仕様 No. 20108

～季節予報ガイダンス（3 か月予報、暖・寒候期予報）～

1. 概要

季節予報ガイダンス（3か月予報、暖・寒候期予報）は、それぞれ3か月予報及び暖・寒候期予報を支援する数値予報ガイダンス資料です。

2. ファイル名

・ 3 か月予報ガイダンス

気温平年差 : Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS3_GUID_Rjp_Past_tablr.txt

降水量平年比 : Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS3_GUID_Rjp_Prrr_tablr.txt

日照時間平年比 : Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS3_GUID_Rjp_Prds_tablr.txt

降雪量平年比 : Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS3_GUID_Rjp_Prfs_tablr.txt

晴れ日数平年差 : Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS3_GUID_Rjp_Panf_tablr.txt

降水日数平年差 : Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS3_GUID_Rjp_Panp_tablr.txt

雨日数平年差 : Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS3_GUID_Rjp_Panr_tablr.txt

上の 7 ファイルを結合したもの :

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS3_GUID_Rjp_P-all_tablr.tar

・ 暖・寒候期予報ガイダンス

気温平年差 : Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS6_GUID_Rjp_Past_tablr.txt

降水量平年比 : Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS6_GUID_Rjp_Prrr_tablr.txt

降雪量平年比（寒候期予報のみ配信）:

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS6_GUID_Rjp_Prfs_tablr.txt

梅雨時期の 2 か月降水量平年比（暖候期予報のみ配信）:

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS6_GUID_Rjp_Prbr_tablr.txt

上の 3 ファイルを結合したもの :

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_EPS6_GUID_Rjp_P-all_tablr.tar

以上の yyyyMMddhhmmss は初期時刻の年月日時分秒を UTC（世界協定時）で示す。

3. フォーマット

① 行の構成

各ファイルは「初期時刻行」、「予測資料行」の2種の行により構成されている。各行の説明を下記に示す。表の1段目はカラムの説明、2段目は文字数、3段目は予報数値ガイダンスのデータの例を示す。各カラムにデータを右詰で収録し、余りはスペースで埋める。各表の下にカラムの詳細を示した。

「C」はカンマ(,)のカラムを表す。

初期時刻行 複数の初期日の最新を格納する。

初期値年	C	初期値月	C	初期値日	C	バージョン情報	C
5	1	5	1	5	1	5	1
2005	,	9	,	1	,	1	,

初期値年・月・日は、ガイダンスの基である数値予報モデルの初期値時刻を世界標準時を用いて表す。

予測資料行

予測対象期間 開始年	C	予測対象期間 開始月	C	予測対象期間 終了年	C	予測対象期間 終了月	C	予測対象 期間長	C
5	1	5	1	5	1	5	1	1	1
2005	,	8	,	2005	,	9	,	7	,

続く

地域番号	C	要素番号	C	予測値* (アンサンブル 平均値)	C	累積確率 (閾値1) *	C	...	C	累積確率 (閾値101) *	C
5	1	5	1	5	1	5	1	...	1		1
1	,	1	,	10	,	0	,	...	,		,

続く

低 (少ない) 確率*	C	平年並みの確率*	C	高 (多い) 確率*	C	低 (少ない) 区分値*	C	高 (多い) 区分値*	C
5	1	5	1	5	1	5	1	1	1
15	,	25	,	35	,	-8	,	8	,

予測対象期間長 : 本行が収録している予測結果の対象期間の長さを月を単位として表す。

地域番号 : 表1にまとめた

要素番号、予測値 : 予測要素に振り返った番号と予測値の単位について表2にまとめた。

確率値 : 天気日数については、「平年値より少ない確率」と「平年値以上の確率」となる。

区分値 : 地域平均階級区分値として表3にまとめた。

累積確率 : 閾値の範囲を表4にまとめた。

*がついているカラムは値がない場合“-9999”とする。

② 行の並び

各ファイル中のデータ行の並びは次のとおり

3か月予報ガイダンス

第1行:「初期時刻行」

第2行以降は、「予測資料行」を次のとおり並べる。

- ① : 3か月平均の「予測資料行」を地域番号1~34の順番に繰り返す。
- ② : 1か月目の「予測資料行」を地域番号1~34の順番に繰り返す。
- ③ : 2か月目の「予測資料行」を地域番号1~34の順番に繰り返す。
- ④ : 3か月目の「予測資料行」を地域番号1~34の順番に繰り返す。

暖・寒候期予報ガイダンス

第1行:「初期時刻行」

第2行:「予測資料行」を地域番号1~34の順番に繰り返す。

表1 地域番号と地域名

番号	地域名	番号	地域名	番号	地域名
1	北日本	11	北海道地方	23	近畿地方
2	北日本日本海側	12	北海道日本海側	24	近畿日本海側
3	北日本太平洋側	13	北海道オホーツク海側	25	近畿太平洋側
4	東日本	14	北海道太平洋側	26	中国地方
5	東日本日本海側	15	東北地方	27	山陰
6	東日本太平洋側	16	東北日本海側	28	山陽
7	西日本	17	東北太平洋側	29	四国地方
8	西日本日本海側	18	東北北部	30	九州北部地方
9	西日本太平洋側	19	東北南部	31	九州南部・奄美地方
10	沖縄・奄美	20	関東甲信地方	32	九州南部
		21	北陸地方	33	奄美地方
		22	東海地方	34	沖縄地方

表2 予測要素とアンサンブル平均値の単位

要素番号	要素	単位
1	気温平均差	0.1℃
2	降水量平年比	%
3	日照時間平年比	%
4	降雪量平年比	%
5	晴れ日数平年差*1	0.1日
6	降水日数平年差*2	0.1日
7	雨日数平年差*3	0.1日

*1 日照率40%以上の日数。日照率は、1日の日照時間を可照時間（日の出から日の入りまでの時間）で割った値。

*2 日降水量1mm以上の日数。

*3 日降水量10mm以上の日数。

表3 階級区分値

項目	意味
「低 (少な) い」の区分値	この値以下で低 (少な) い階級となる
「高 (多) い」の区分値	この値より大きいと高 (多) い階級となる

表4 閾値の範囲

要素	閾値 1	閾値 2	…	閾値 51	…	閾値 100	閾値 101	増分
気温平年差(0.1℃)	-50	-49		0		49	50	1
降水量平年比(%)	0	2		100		198	200	2
日照時間平年比(%)	0	2		100		198	200	2
降雪量平年比(%)	0	2		100		198	200	2
晴れ日数平年差(0.1日)	-50	-49		0		49	50	1
降水日数平年差(0.1日)	-50	-49		0		49	50	1
雨日数平年差(0.1日)	-50	-49		0		49	50	1

4. サンプルデータ等の提供

サンプルデータを媒体で提供しますので、必要とされる場合は気象業務支援センターまでご連絡ください。

5. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行いません。あらかじめご承知おきください。